

項目	使用データ・算出方法		H25年度 (2013)	H26年度 (2014)
1 高齢患者（75歳以上）における褥瘡対策の実施率（カルテ等から把握）	使用データ： DPCデータ（様式1、EFファイル）、サーベイランスデータ 分子：分母のうち、カルテ等から褥瘡予防対策の実施が認められた患者数。 分母：入院時に「褥瘡」および「褥瘡発生リスク」が認められた高齢患者数（75歳以上）。褥瘡の危険因子該当者は、「栄養失調有」「関節拘縮有」「浮腫有」「日常生活動作の移乗や平地歩行で全介助」のうちいずれか一つ以上該当するものとする。ただし、「片麻痺」「四肢麻痺」「下肢の単麻痺」「無酸素性脳症」「胸部二分脊椎」「腰部二分脊椎」「仙骨部二分脊椎」「二分脊椎」「潜在性二分脊椎」のうち、いずれか一つ以上の傷病がある患者は除外。	指標値	H24より褥瘡管理者加算が廃止となったため	64.549%
		分子		1.697
		分母		2.629
2 高齢患者（75歳以上）におけるⅡ度以上の褥瘡の院内発生率	使用データ： DPCデータ（様式1、EFファイル）、サーベイランスデータ 分子：分母のうち、褥瘡対策に関する治療計画書等において、NAUAPの分類にてStageⅡ以上、もしくはDESIGN評価表でd2以上と判定された院内の新規発生の褥瘡を有する患者数。 分母：入院時に褥瘡および褥瘡発生リスクが認められた高齢患者（75歳以上）の延べ在院日数の総計（在院患者延べ数）。褥瘡の危険因子該当者は、「栄養失調有」「関節拘縮有」「浮腫有」「日常生活動作の移乗や平地歩行で全介助」のうちいずれか一つ以上該当するものとする。ただし、「片麻痺」「四肢麻痺」「下肢の単麻痺」「無酸素性脳症」「胸部二分脊椎」「腰部二分脊椎」「仙骨部二分脊椎」「二分脊椎」「潜在性二分脊椎」のうち、いずれか一つ以上の傷病がある患者は除外。	指標値	H24より褥瘡管理者加算が廃止となったため	0.264%
		分子		86
		分母		32.565
3 手術ありの患者の肺血栓塞栓症の予防対策の実施率（リスクレベル中以上）	使用データ： DPCデータ（様式1、EFファイル） 分子：分母のうち、「肺血栓塞栓症予防管理料（弾性ストッキングまたは間歇的空気圧迫装置を用いた計画的な医学管理）」が算定されている、あるいは抗凝固薬（静脈内留置ルート内の血液凝固の防止目的のヘパラッシュ等は除く）が処方された患者数。 分母：肺血栓塞栓症発症のリスクレベルが「中」以上の手術を施行した退院患者数（リスクレベルが「中」以上の手術は『肺血栓塞栓症/深部静脈血栓症（静脈血栓塞栓症）の予防ガイドライン』に準じて抽出）。ただし、15歳未満の患者は除外。	指標値		94.26%
		分子		1.362
		分母		1.445
4 手術ありの患者の肺血栓塞栓症の発生率（リスクレベル中以上）	使用データ： DPCデータ（様式1、EFファイル） 分子：分母のうち、入院後発症疾患名に「肺血栓塞栓症」が記載されている患者数。 分母：肺血栓塞栓症発症のリスクレベルが「中」以上の手術を施行した退院患者数（リスクレベルが「中」以上の手術は『肺血栓塞栓症/深部静脈血栓症（静脈血栓塞栓症）の予防ガイドライン』に準じて抽出）。ただし、15歳未満の患者は除外。	指標値		0.07%
		分子		1
		分母		1.445
5 術後の大腿骨頭部/転子部骨折の発生率	使用データ： DPCデータ（様式1） 分子：分母のうち、入院後発症疾患名に「大腿骨骨折」が記載されており、入院中の2回目の手術で「大腿骨頭回転骨切り術」「大腿骨近位部（転子間を含む）骨切り術」「人工骨頭挿入術」のいずれかが施行された患者数。 分母：手術を施行した退院患者数。ただし、「けいれん」「失神」「脳卒中」「昏睡」「心停止」「中毒」「外傷」「せん妄その他の精神科疾患」「低酸素性脳症」「リンパ腫」「骨腫瘍」「自傷行為による怪我」のいずれか一つ以上の傷病がある患者は除外。	指標値	0.07%	0.00%
		分子		2
		分母		2.949
6 退院患者の標準化死亡比	使用データ： DPCデータ（様式1、EFファイル） 分子：観測死亡率 観測死亡患者数を退院患者数で除すことで算出。 分母：予測死亡率 予測死亡患者数を退院患者数で除すことで算出。	指標値	0.6171	0.4346
		分子		0.0734
		分母		0.0453
7 急性脳梗塞患者に対する早期リハビリテーション開始率	使用データ： DPCデータ（様式1、EFファイル） 分子：分母のうち、「脳血管疾患等リハビリテーション料」が入院日から数えて4日以内に算定された患者数。 分母：「医療資源を最も投入した傷病名」が「脳梗塞」で、「脳梗塞」の発症時期が急性期（発症3日以内）であったJCS（JapanComaScale）1桁「I群（3名前、生年月日がいえない・2見当識障害あり・1清明とはいえない・0無し）」の退院患者のうち、「脳血管疾患等リハビリテーション料」が算定されていた退院患者数。ただし、「入院時併存症」「入院後発症疾患併存」に、「急性心筋梗塞」、「起立性低血圧」、「くも膜下出血」、「脳内出血」、「その他の非外傷性頭蓋内出血」のうち、いずれか一つ以上該当する傷病がある患者は除外。また、「3日以内で退院した患者」「退院時転帰が死亡」の患者は除外。	指標値		96.47%
		分子		164
		分母		170
8 急性脳梗塞患者に対する入院2日以内の頭部CTもしくはMRIの施行率	使用データ： DPCデータ（様式1、EFファイル） 分子：分母のうち、入院当日・翌日に「CT撮影」あるいは「MRI撮影」が算定された患者数。 分母：「医療資源を最も投入した傷病名」が「脳梗塞」で、入院時の「脳梗塞」の発症時期が急性期（発症3日以内）であった退院患者数。入院中発症も含む。	指標値		97.36%
		分子		258
		分母		265
9 急性脳梗塞患者における入院死亡率	使用データ： DPCデータ（様式1） 分子：分母のうち、退院時転帰が死亡の患者数。 分母：「医療資源を最も投入した傷病名」が「脳梗塞」で、「脳梗塞」の発症時期が急性期（発症3日以内）であったJCS（JapanComaScale）1桁「I群（3名前、生年月日がいえない・2見当識障害あり・1清明とはいえない・0無し）」の退院患者数。ただし、「脳動脈の塞栓症による脳梗塞」、「脳幹梗塞」、「出血性脳梗塞」のうち、いずれか一つ以上該当する傷病がある患者は除外。	指標値		0.00%
		分子		0
		分母		137

項目	使用データ・算出方法		H25年度 (2013)	H26年度 (2014)
10 急性心筋梗塞患者に対する退院時アスピリンあるいは硫酸クロピドグレル処方率	使用データ： DPCデータ（様式1、EFファイル） 分子：分母のうち、退院時処方アスピリンあるいは硫酸クロピドグレルが処方された患者数 分母：「急性心筋梗塞、再発性心筋梗塞」の退院患者数。ただし、「退院時転帰が死亡であった患者」「退院先が『他院へ転院（入院）した場合』あるいは『その他（介護老人保健施設、介護老人福祉施設等への転所）』『Killip分類が『Class 4』であった患者』のうち、いずれか一つ以上に該当する患者は除外。	指標値	91.13%	89.13%
		分子	62	41
		分母	68	46
11 PCI（経皮的冠動脈インターベンション）を施行した患者（救急車搬送）の入院死亡率	使用データ： DPCデータ（様式1） 分子：分母のうち、退院時転帰が「死亡」の患者数。 分母：救急車で搬送され、「医療資源を最も投入した傷病名」が『不安定狭心症』、『急性心筋梗塞』、『再発性心筋梗塞』、『その他の急性虚血性心疾患』のいずれかで、PCI（経皮的冠動脈インターベンション「経皮的冠動脈形成術」「経皮的冠動脈粥状除去術」「アテレクトミー」「経皮的冠動脈ステント術」）を入院当日あるいは翌日に施行した退院患者数。ただし、「入院突発傷病名」、「入院時併存症」が『心停止』であった患者、あるいは『急性心筋梗塞』、『再発性心筋梗塞』、『その他の急性虚血性心疾患』、『急性心筋梗塞の続発合併症』、『心（臓）中隔欠損（症）、後天性』のいずれかに該当し、入院時のKillip分類が「Class 3」あるいは「Class 4」であった患者は除外。	指標値	0.00%	0.00%
		分子	0	0
		分母	42	27
12 乳がん(ステージI)で乳房温存手術	使用データ： DPCデータ（様式1） 分子：分母のうち、乳房温存手術として、「乳腺悪性腫瘍摘出術」の「乳房部分切除術（腋窩部郭清を伴わないもの）」「乳房部分切除術（腋窩部郭清を伴うもの）」のいずれかが行われた患者数。 分母：乳房の悪性腫瘍でステージI（TNM分類：「T1：大きさ2cm以下」「N0：領域リンパ節転移なし」）で「乳房切除術」あるいは「乳腺悪性腫瘍手術」を施行した退院患者数。	指標値	50.00%	60.00%
		分子	7	6
		分母	14	10
13.1 人工関節置換術／人工骨頭挿入術における抗菌薬の3日以内中止率	使用データ： DPCデータ（様式1、EFファイル） 分子：分母のうち、術日以降に抗菌薬が予防的に投与され、「3日以内」に中止された患者数。ただし、「2日以内で退院した患者」は除外。 分母：「人工関節置換術」「人工関節再置換術」「人工骨頭挿入術」のいずれかを施行した退院患者数。	指標値	2.13%	0.00%
		分子	3	0
		分母	141	148
13.2 人工関節置換術／人工骨頭挿入術における抗菌薬の7日以内中止率	使用データ： DPCデータ（様式1、EFファイル） 分子：分母のうち、術日以降に抗菌薬が予防的に投与され、「7日以内」に中止された患者数。ただし、「2日以内で退院した患者」は除外。 分母：「人工関節置換術」「人工関節再置換術」「人工骨頭挿入術」のいずれかを施行した退院患者数。	指標値	99.29%	100.00%
		分子	140	148
		分母	141	148
14 人工膝関節全置換術後の早期リハビリテーション開始率	使用データ： DPCデータ（様式1、EFファイル） 分子：分母のうち、4日以内に「運動器リハビリテーション料」が算定された患者数。 分母：「予定・救急医療入院」区分が『予定入院』の「膝関節症の手術有の手術・処置等1なし（DPCコード：070230××010××）」の退院患者数。ただし、「自家遊離複合組織移植術（顕微鏡下血管柄付きのもの）」「骨移植術（軟骨移植術を含む）」のいずれかが行われた患者、あるいは「3日以内で退院した患者」は除外。	指標値	100.00%	100.00%
		分子	71	78
		分母	71	78
15 出血性胃十二指腸潰瘍に対する内視鏡的治療（止血術）の施行率	使用データ： DPCデータ（様式1） 分子：分母のうち、「内視鏡的消化管止血術」が算定された患者数。 分母：「医療資源を最も投入した傷病名」が「胃潰瘍」あるいは「十二指腸潰瘍」で「急性、出血を伴うもの」に該当する退院患者数。	指標値	84.78%	72.41%
		分子	39	21
		分母	46	29
16 治療を必要とする転倒転落発生率	使用データ： サーベイランスデータ 分子：治療を必要とする転倒転落件数（レベル3b以上） 分母：入院患者延べ数	指標値	0.0052%	0.0015%
		分子	7	2
		分母	135,526	129,400
17 II度以上の新規褥瘡院内発生率	使用データ： サーベイランスデータ 分子：褥瘡対策に関する治療計画書において、NPUAPの分類にてStage II以上、もしくはDESIGNでd2以上と判断された院内の新規発生褥瘡を有する患者数。 分母：入院患者延べ数	指標値	0.0140%	0.0162%
		分子	19	21
		分母	135,526	129,400